



# ICANN改革とRIR Blueprint

JPNIC理事(IPv6担当)

ICANN Address Council

荒野 高志

(株)インテック・ネットコア

# ICANN

- インターネット上のドメインネーム、IPアドレス、ルートネームサーバなどの共有資源の調整を行うため、1998年秋設立した民間の非営利団体
  - それ以前は、IANA (Internet Assigned Names Authority)がNSF (National Science Foundation)から委託を受けて実施していた
  - 米国政府のものではなく、世界のみんなで資源管理を！
  - 年4-5回の会議も世界中で開催。委員も世界から選定
- 今までの実績
  - gTLD (.comなど)を開放
  - 新gTLDを発行 .biz, .info, .nameなど

# ICANN改革

- 2002年事務局長のLynnからの提案がきっかけでICANN改革を検討
- 2002年10月上海会議で大筋決着
  - 理事会の構成の変更
  - SOの構成
    - GNSOとccNSOの新設
    - PSOの廃止
  - 独立審査委員会の設置など
  - ASOについて、実際の実現手順などは未決

## RIR Blueprintまでの背景

- ASO/RIR周りの件についてはあまり検討されず
- RIRの主張によればRIRからのコメントは無視されている
- そこでRIRとして自分たちのコミュニティの考えをまとめて2002年10月にBlueprintを提出

# RIR Blueprintのポイント

- RIRのボトムアッププロセスはうまく動いている
  - ICANN改革プロセス自体には懸念
  - ドメインと必ずしも同じ仕組みにする必要なし
- 
- NRRの新設
  - グローバルポリシー制定の権限や新RIR認定をASOへ。ICANN理事会はASOの決定をレビューする立場
- RIRはICANNから離れていくわけではない

## NRR(Number Resource Registry)の提案

- “RIR Blueprint for Evolution and Reform of Internet Address Management”
  - <http://www.apnic.net/community/icann/docs/blueprint/nrr-blueprint-20021010.html>
- IPアドレス(v4, v6), AS番号の管理を統括する組織を立ち上げる
  - 必ずしもIANA-RIRの二層構造は必要ない
- NRRの運営ポリシーはRIRsのプロセスに従って策定され、グローバルコーディネーテッドポリシーとしてASOアドレス評議会によって採択される

# 他の団体からのコメント

- ASO Address Council
  - 総論賛成
  - NRRについてはIETFなど他の団体との関係性の明確化など、より考慮が必要では
- ccTLD
  - 全面支持

# Q&A

